

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/10/03

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.88	0.34
JPY/THB	0.2245	-0.0021
USD/JPY	146.47	2.90
EUR/THB	36.29	0.29
EUR/USD	1.1045	-0.0023
USD/CNH	7.036	0.006
SGD/THB	25.43	0.18
AUD/THB	22.64	0.25
USD/INR	83.82	0.00
USD Index	101.68	0.48

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.250	0.002
10Y (THB)	2.501	0.003
5Y (USD)	3.553	0.045
10Y (USD)	3.781	0.049

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,647.1	-20.2
WTI (Oil)	70.10	0.27
Copper	10,084.5	105.5

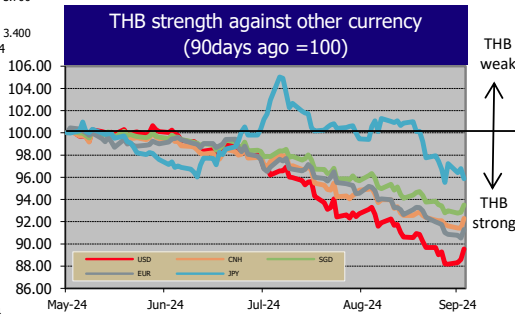
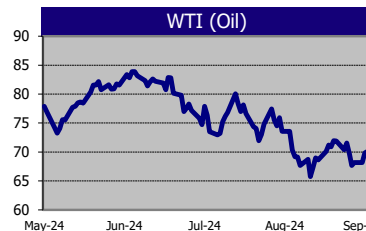
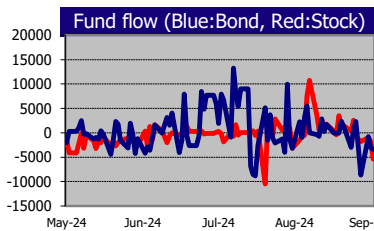
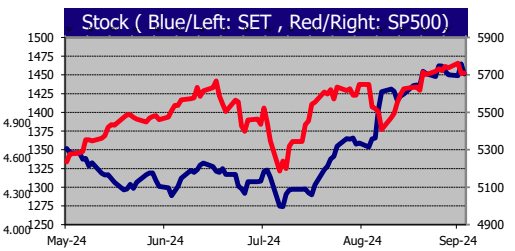
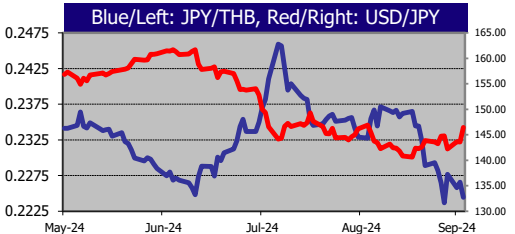
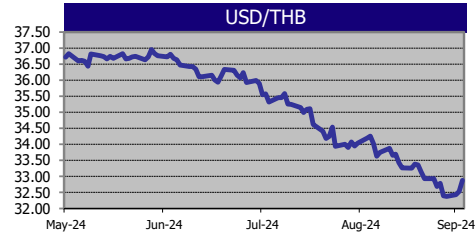
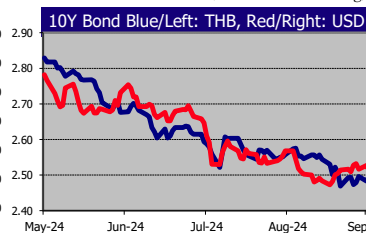
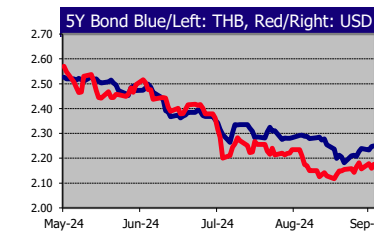
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,451.40	-13.26
NIKKEI (JP)	37,808.76	-843.21
DOW (US)	42,196.52	39.55
S&P500 (US)	5,709.54	0.79
SHCOMP (CN)	3,336.50	0.00
DAX(GER)	19,164.75	-48.39

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(5,361)	-3645.9
Bond net flow	(3,435)	-401.8

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。32パーツ半ば付近でスタート。中東情勢緊迫化懸念から、ドルが対アジア通貨で全般的に買われる中、バンコク時間に32パーツ台後半まで上昇。NY時間に米9月ADP雇用統計が予想を上回るとドル高が一層加速し、ドルパーツも33パーツちょうど付近まで上値を伸ばした。その後は小幅下落するも、ドル高の流れが続き、32.88レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。143円半ば付近でスタートした後、ドル買いが先行し、赤沢経済再生相が利上げに慎重な姿勢を示すとさらに144円台前半まで上値を伸ばす展開となった。しかしその後は下落に転じ、結局143円台後半の水準で海外に渡った。欧州時間では石破首相から「現在、追加利上げするような環境にない」との発言を受けて144円台後半まで急上昇。一旦落ち着くも、NY時間に好調な米9月ADP雇用統計を受けて再びドル買いが進行し、146円台前半まで上昇。その後もドル買いの流れが続き、146.47レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

先週末の石破ショックで急落したドル円は、今週に入り急落前の水準に戻したどころかそれ以上の円安水準で推移している。石破ショックの背景は、決選投票で高市氏の勝利を織り込んだ円安への反動だったと言われているが、その後石破首相はメディア等を通じて、政府はデフレ脱却を最優先としており、金融政策については現状の金融緩和姿勢が維持されることを期待すると発言したことから、ドル円に急速な調整が入ったものと考えられる。同様主旨の発言は、赤沢経済再生担当大臣や加藤財務大臣からも出ており、ここからは石破政権が具体的な経済政策を打ち出す前に円が買い進まれるシナリオは考えにくい。そうなるか気になるのは、ヘッジファンドなどの投機筋の動向だ。米CFTCが発表する通貨先物ポジションの状況によると、9月24日時点で投機筋の円買い持ち高は6週連続で拡大しており、2016年10月以来の高水準となっている。何らかの材料で円売りが喚起された際にその動きが加速する可能性に留意したい。昨日米国で発表されたADP雇用統計では予想よりも強い雇用の伸びが確認されており、明日発表の米9月雇用統計に注目が集まる。冴えない結果で円高となるか、ADP同様強めの結果となりドル買いが進むか、また、足元の中東情勢の緊迫化も有事のドル買いを喚起するか安全資産としての円買いを促すかは予断を許さないところであり、当面為替相場は急激な変動リスクに注意したい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.